



# くしもと

# 議会だより

Vol.33

2021年3月



安全キャビネット内での作業



45分で検査ができるPCR検査機（検体セット中）



45分で検査ができるPCR検査機（測定中）



15分で検査ができるPCR検査機（中央）

くしもと町立病院に導入されたPCR検査機器

9月議会定例会報告	.....	P 2
12月議会定例会報告	.....	P 3
一般質問	.....	P 4～P 15
議会改革特別委員会報告	.....	P 16
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会報告	.....	P 16
役場新庁舎建設現場及びサンゴ台中央線視察研修	.....	P 17
各研修会報告	.....	P 18
議会広報特別委員会に対するチラシについての訂正記事	.....	P 19
議会の動き・議長公務日誌	.....	P 20



審議された議案の主なもの

- 申本町職員等の給与に関する条例の一部改正  
人事院の勧告に従い、全職員（議員も含む）のボーナスを年当たり、0.05月引き下げ。
- 工事請負契約の締結 田並地区防災拠点施設新築工事  
62,912,300円 株式会社 小寺工務店
- 申本町地域振興拠点施設の指定管理者の指定について  
橋杭道の駅を引き続き、熊野観光開発株式会社（旧南海エフディサービス(株)）に指定管理。
- 後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出を求める陳情（反対：水口、芝山、清水、賛成：島野、寺町、川勝、五十川、吉村、仲江、松下、鈴木、沼谷、長脊、橋爪）  
反対討論（芝山）：後期高齢者の割合は2000年では7.1%であったものが、2025年には17.8%（2.5倍以上）になる。医療制度の破綻も心配されている。今回の負担増は月額17万以上の経済力のある方々にも少し社会に貢献していただきたいという趣旨。若者でも月額17万以下で生活している人も多い。現時点では不採択。  
賛成討論（仲江）：負担が際限なく上がっている。お金のない所から取るのではなく、史上空前の収益を挙げている企業に負担してもらおうべき。消費税10%になったが、福祉には回らず、企業減税に回っている。  
その結果、提出された意見書については、全会一致で可決された。
- 議長不信任案（賛成：清水、川勝、水口、反対：島野、寺町、五十川、吉村、仲江、芝山、松下、鈴木、沼谷、長脊、橋爪）  
提案理由：「議事進行発言」の許可を得て、病院管理者の答弁に対し、議長の注意を促す発言をすると、すぐに制止され、そのまま発言すると、退場になった。さらに一般質問の権利まで奪われたのは著しく不当。  
議長弁明：清水議員は議事進行にそぐわない不規則発言を続けたので、退室を命じた。清水議員は3回の退場の経緯もあり、一般質問の権利を無くさせても猛省を促すべきと判断した。これを不信任とするのは承服しがたい。
- 清水健太郎議員に対する懲罰動議（反対：川勝、水口、賛成：島野、寺町、五十川、吉村、仲江、芝山、松下、鈴木、沼谷、長脊、橋爪）  
提案理由：清水議員は自ら会議規則を守らず退場になったが、議長と議会を批判しながら退場し、そのことを反省せず、不信任案まで出すのは看過できない。懲罰を科すべき。  
清水弁明：議事進行で認められた発言を途中で制止するのは不当。余りにも議長の采配が悪い。これでは声も大きくなるし、不規則発言をするのも当たり前。こんな議会では申本町は沈没する。

令和2年度一般会計補正予算（主な概要）

- 古座分庁舎リノベーション基本構想策定業務委託料 397万円  
委託先 キヤノン株式会社（コンセプト：宇宙と自然に向き合い、未来をつくるクリエイティブセンター）
- 菌床製造栽培大型共同作業場空調設備等設計業務委託料 703万円
- 安指浜九平見線災害復旧工事 1,685万円  
反対討論（清水）：概算で3億2千万円の工事（菌床製造栽培大型共同作業場）をするのに、資料が全く足りない。申本椎茸株の業績も把握していない。こんな状態では住民の代表として賛成できない。  
賛成討論：なし。  
採決（反対：清水、賛成：水口、島野、寺町、川勝、五十川、吉村、仲江、芝山、松下、鈴木、沼谷、長脊、橋爪）

# 第4回定例会（12月）

第4回定例会は12月7日から18日までの会期で開催されました。提出された案件は、当局より報告3件、人事案件1件、条例案件12件、補正予算案件6件、その他案件6件の合計28件及び令和元年度決算認定16件。議会からは委員会中間報告、陳情3件。追加議案として当局より補正予算案件1件。議会から発議3件の審議がありました。



諸報告の主なもの

- 財政の健全化判断比率及び資金不足比率について  
令和元年度決算に基づく健全化判断比率は、実質赤字比率は「ない」で実質黒字比率が3.16%、連結実質赤字比率は「ない」で連結実質黒字比率は14.05%、実質公債費比率は10.3%、将来負担比率は69.1%。いずれの数値も、早期健全化基準及び財政再生基準と比較して低い値となっている。
- くしもと町立病院における新型コロナウイルス感染症対策について  
1月から開設しています発熱外来は、8月中旬以降、熱中症や脱水症と思われる症例数に比例し、受診者数は増加傾向にあります。  
分娩前の妊婦を対象とした任意のPCR検査も実施しています。
- 職員採用について  
一般事務職3名程度、社会福祉士1名、保健師1名、保育士・幼稚園教諭2名、消防職3名を募集しました。

財産の取得

- ノート型パーソナルコンピューター 300台  
26,620,000円 株式会社うえだ申本営業所
- ノンステップ型コミュニティバス 1台  
19,160,960円 阿部自動車商会

令和2年度一般会計補正予算（主な概要）

- 新庁舎建設事業 2,106万円
- 障害者自立支援事業 637万円
- 障害児通所支援事業 862万円
- サンゴ台中央線新設事業 4,789万円  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億2,359万2千円を追加し、予算の総額を148億7,972万3千円となる。

# 第3回定例会（9月）

第3回定例会は9月1日から11日までの会期で開催されました。提出された案件は、当局より報告3件、人事案件5件、条例案件7件、補正予算案件6件、決算認定案件16件、その他案件3件の合計40件。議会からは補欠選挙に伴う委員の選任等を行いました。追加議案として当局より財産取得案件1件。議会より発議3件の審議が行われました。決算認定案件については、決算審査特別委員会で継続して審査することになりました。



水口 崇

▽鳥獣害対策

【質問】 一番多い陳情は猪・鹿・猿の被害対策である。農作物被害だけでなく、お墓を荒らし、土砂崩れも引き起こしています。ボランティアで2か月で25匹退治しました。個体数を減らさないと、被害は減らない。地域を巻き込んだ鳥獣害対策が必要である。役場も指導をすべきである。



地域で管理している捕獲檻で100kgを超える大物も退治しました

【答弁】（産業課長）協議をしている。鳥獣害対策実施施隊を研究。

▽災害対策と住民救済対策

【質問】 災害対策で一番備蓄しておかなければならないのはお金である。被災された方、着の身着のまま逃げた方を救済しなければならぬ。

【答弁】（総務課長）災害が発生したときに、色々な大きなお金が要る。

【質問】 地元の特殊技能（ドローン他）を持った方と災害協力を求めて行くべきである。

【答弁】（総務課長）これは大事なことだと思います。



50m付近で伐採後の新芽を鹿が食べて枯れ、猪も斜面を掘り起こしています。民家が隣接し今後大雨が降ると危険である。WRB 所有のドローン 串本町和深土砂崩れ現場ドローンでの調査

▽公金の使い方

住民福祉の向上

【質問】 銀行やコンビニ等が入るのやぶさかではない。何故紀陽銀行にスペースを買い取ってもらわないのか。

【答弁】（総務課長）賃貸料収入を頂くことを考えております。

【質問】 行政の仕組みは、国県からの補助金が付いて事業が行われる。例えば1/2補助なら1億円が2億円になり、そこに産業連関（1.6〜2.0倍の経済波及）が生まれる。防災に使えば、プライスレス「助かる命が助かる」公金は住民福祉の向上のために使うべきである。

【答弁】（総務課長）今の金融機関というのは大変厳しい。高台に銀行があると災害時の復旧スピードが違ってくる。

【質問】 銀行に使えばそれで終わり。

▽くしもと病院

【質問】 くしもと病院が町民から信頼される病院になつてほしい。「医は仁術」医は、人の命を救う博愛の道である。意に反して余りにも病院への苦情が多い。

【答弁】（病院管理者）噂は噂です。【答弁】（病院事務長）満足・やや満足が68%、どちらとも言えない26%、やや不満・非常に不満6%。

【質問】 病院は福祉の根源である。ある程度の繰入金は、必要である。人口減・高速道路・75歳2割負担等医療環境が変化し経営が厳しくなる。

【答弁】（病院事務長）繰入金が毎年9億円。【答弁】（病院管理者）経営健全化比率、経常収支、歳出を細かく設定しています。

【質問】 具体的取組や数値目標を上げて取り組むことが必要。



川勝 昇

●9月議会

▽稲村台地活用計画について

【質問】 稲村台地活用計画は、当初名鉄KKが海中公園建設と並行して台地活用計画を立案し、地元所有者等の協力を得て、その推進に取り組みましたが、その計画を断念し、所有地を串本町に無償譲渡、町として有効活用に取組む方針となり、町として当時困惑していた、3町し尿処理場として新施設建設までの間活用、使用する希望方針で地域協力を求め、その運用実施となりました。

【答弁】（町長）稲村台地対策については、県当局とも一層連携して、高速道延伸、ロケット打上げ等好条件もあります、稲村台地活用課題についても取り組み努力をします。



●12月議会

▽サンゴ台新設道路排水処理対策について

【質問】 サンゴ台新設道路工事も

【質問】 流末処理対策工事まで進展。国道を地下水路で横断、上浦海辺へ放流する、最終工事に関連する、国道関係部署、漁業組合、地域住民等々、十分協力要請に努め、また、上浦強風吹込み対策も対処する等、安全対策を十分計画立案して、サンゴ台道路完成を目指すことが大切。最善の努力を期待します。

【答弁】（町長・建設課長）ご意見に際し、住民の安心確保と工事完成を目指します。また、宮川への排水路対策は点検し、安全対策に取り組みます。

【質問】 サンゴ台道路から袋地区への排水流出対策は万全な対策で安全を期すこと。

【答弁】（建設課長）流末処理安全対策は十分対処します。

▽高速道串本インター・橋杭間山岳遊歩道建設について

【質問】 高速道串本インター・橋杭間に山岳遊歩道を新設すること。

【答弁】（町長）検討課題とします。





五十川 清紀

●9月議会

新型コロナウイルスの怖さを知らされ、住民の不安が続く。この感染症関連問題として①くしもと町立病院医療崩壊等の危険性②小、中学生オンライン教育（GIGAスクール構想）③社会福祉関係、介護事業所施設等への対応について質問した。

【質問】 病院の対応、病床数、呼吸器等、備蓄品等どうか。

【答弁】（病院事務長） 当院での医療施設の数、人的物的医療資源では現状新型コロナウイルスが町内でアウトブレイクした時、コロナに主軸を置いた診療体制を組むことが不可能。感染症指定病院に委ねます。備蓄品は防護服等、半年分程度は確保している。

【質問】 病院の経営問題として、コロナ患者さんを受け入れると赤字が増える等報道されて

いる。くしもと病院の赤字も、管理者、スタッフが身を切る改善計画を進め、成果を出した中、この辺りどうか。

【答弁】（病院管理者） 風評的被害を払拭するため、職員全員に抗体検査を実施し、住民の不安の解消に努めた。また経営についてもボクサーで言ったとおりこの出ない状況までスリム化してきた。これ以上やれと言われれば、行政サービスが成り立たない状態、経費をかけなくて悪いものを残すような愚策はしたくない、ある程度町から国からお願うすることもありますが、安心できる医療を提供していきたい。

【質問】 テクノロジー活用の時代となり、児童へのパソコン配置の中、オンライン教育等その後進んでいるのか。

【答弁】（教育長） GIGAスクール構想等タブレットを使った指導、2024年4月小学校の教科書改訂もあり、黒板に先生が字を書き帳面に写すといった部分から変わってくる。教師力量も非常に大事で、乗り遅れないよう取り組みたい。

【質問】 ロケット関係について、串本の中長期総合計画の構想等経済効果、また、串本イコール宇宙産業の夢を実現に向かって大々的に取り組むべきではないか。

【答弁】（町長） 今一番大事なことは浮かれてこのロケット事業にお金をかけることは慎重でなければならぬ。誰もこの打ち上げを見たことがない、最初の打ち上げであらゆる調査、検討しきった中で対応したい。一番懸念するのは交通渋滞等、一番協力を頂いた田原地区の皆さんに迷惑をかけることはしたくない、着実に地道にこのロケット事業を成功させたい。

●12月議会

【質問】 鳥獣害による被害、各地域でイノシシの被害が多発、サング台イベント広場も荒らさ

れ、グランドゴルフ、子供の散歩等活用者が多いため早期に、改善を望む。

【答弁】（教育長） イベント広場の件で、イノシシの捕獲、入らないような手だて、荒らされた部分の修復等検討したい。

【質問】 田原・古座地域の活性化水産業等高齢化に伴う後継者育成。観光開発促進に向け串本古座観光協会と町行政との事業化の方法等産業課で検討して欲しい。

【答弁】（産業課長） 水産業については漁業の担い手育成支援事業を実施しており、現在2名の方が研修を受けています。

【質問】 コミュニティバスの活用で経路見直し要望あり、地域的にあった路線の見直し、例えば人口の増える潮岬は専属周遊、串本和深線串本発11時増発等。

【答弁】（企画課長） すべての地区で住民意見交換会を実施、意見を頂き交通対策委員会に諮り公安また運輸支局と相談し実現しに行きたい。



吉村聡一郎

●9月議会

▽人口減少 【質問】 合併時と現在の人口比較と今後の予測について。

【答弁】（企画課長） 平成17年4月1日の住民基本台帳に基づくもので、人口が2万652人です。令和2年4月1日現在の住民基本台帳の人口が1万5629人ということで、差引き5023人減となっております。

【質問】 今現在の年少人口、生産年齢人口、老年人口の数と割合を教えてください。

【答弁】（企画課長） 令和2年8月末現在で、年少人口（0～14歳）が1277人、比率で8.2%。生産年齢人口（15～64歳）が7127人、比率で45.9%。

老年人口（65歳以上）で7126人、比率で45.9%というところであります。

【質問】 この人口減少に対する町の施策、今やっていると紹介していただければと思います。

【答弁】（企画課長） 串本町では、串本町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しております。4本の柱がございます。①地方における安定した雇用を創出する。

②地方への新しい人の流れをつくる。③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携するという4つの目標です。

各課、具体的な施策をホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧になっていただきたいと思います。

●12月議会

▽9月議会一般質問レビュー

【質問】 発達障害の方々のための学童のような居場所、そういったものができないのか。親御さんは自分の子供に楽しく生きてほしいと、そう願っているんです。そういう楽しい場所を造ってあげたいというのが願いです。

今、そういった同じ境遇の子供たちが集まる場所を造ることができるとは思っています。

【答弁】（病院管理者） 発達障害の子が大きくなったときのAYA世代（※1）、この年齢は、そこできつちりとした支援を行えば、生産年齢人口として世に送ることができる年齢なんです。本当に、ここの支援が要るんです。

ユニット型の共同ハウス、いわゆる、もみじの家というような制度があります。例えば障害を持つていての方と、その家族が複数のユニットを作りながら、助け合いながら共同生活をして

いく形を取る。これは1町村では、なかなか難しいと思うので、東牟婁郡で共同で作っていたただ働きかけをしていくことは非常に大事なことがある。

もう一つは、その人達の個性を伸ばすのにインフォーマルサービス（※2）が必要になってくると思っています。例えば、障害を持つていての方の野球チームを作るとか、そういう形で発達を伸ばす取り組みもされていますので、野球等を通じて、そういう人たちのサークルを作っていただきたいと思います。

小児科医としての私の考えとしては、そういうところがございます。

※1 AYA世代 Adolescent and Young Adult（思春期及び若年成人）の頭文字をとった略語で15歳から39歳くらいまでの世代を指す言葉。医療現場で使われることが多い。  
※2 インフォーマルサービス公的なサービス以外のもので、家族や友人、町内会や民生委員、地域住民、ボランティア等が行う援助活動。



仲江孝丸

●9月議会

▽図書館の現状と将来計画

【質問】 駅裏開発の庁舎建設予定地だったところが空いてきた。有田川町のアレックのような広く町民が使いやすい憩える施設を作ってはどうか。

【答弁】（教育次長） 図書館協議会の高台への移転の答申を重く見ている。

▽産業廃棄物の適正処理

【質問】 建設リサイクル法により解体業は県への登録が必要。串本建設部で確認したら有有限会社茂田組は解体業も建設業も無登録で解体業をしている。調査をしていたら私を誹謗するチラシが新聞折り込みされた。（ここで議長の制止を聞かず不規則発言を繰り返した議員が退場となる）



芝山定史

●9月議会

「発展する串本への都市計画」

▽防災・観光の視点から  
【質問】 高速道路への緊急自動車の乗り入れ口は何か所あるか。

【答弁】（建設課長） いくつかの地区から要望があり、人だけの乗り入れも含め国・警察等の関係機関と運用面から要望検討中です。

【質問】 高速道路工事中の作業用道路を残せないか。

【答弁】（町長） 国との交渉であるが、財政面から考えて困難であると考えている。

【質問】 串本町の全ての高台を繋ぐ計画はないか。

【答弁】（建設課長） 都市計画プランはありますが、道路を有効に利用する協議会等で検討していく事になると思います。

【答弁】（町長） 津波は止められないので、まずは公共施設を一つ

町として県に罰則の適用と改善の命令を求めるべきだ。

【答弁】（副町長） なりわいとして解体をしているとなれば法律に定められた届け出義務を怠っている。産業廃棄物を山に捨てているという現状を確認したので、関係機関に通報することも改善を求めるのは当然。

【質問】 産廃が焼却場やリサイクルセンターに持ち込まれてはいないか。

【答弁】（住民課長） 4月より産廃持込禁止の看板を立てた。この状況にもかかわらず8月にルーピングや雨戸の持ち込みがあり、持ち帰ってもらった。

●12月議会

▽町の財産管理

【質問】 財産区の元年度決算を見ると、下草刈りや境界確認といった管理費の未執行が大半である。これでは財産を適正に管理しているとは言えない。

【答弁】（総務課長） 財産区管理会でも問題を指摘して改善の話合いが行われている。

▽病院改革の取組

【質問】 今後どのように改革を進めるのか。

【答弁】（病院事務長） ①施設基準を見直して、良質の医療を提供したい。②安心・安全な医療の提供、感染症対策に力を入れる。③地域包括ケアシステムの構築。

【答弁】（病院管理者） 介護医療の連携に力を入れていきたい。来年4月から言語聴覚士を一人雇う。認知症専門窓口、専門外来をつくって支援していきたい。

【質問】 PCR検査の現状は。

【答弁】（病院事務長） 10月に検査機器が入り12月以降発熱外来で全てPCR検査を行っている。

今後は①肺炎・熱原不明の発熱者・オペ前等に実施する事で院内感染を防ぐ。②町内の各施設でクラスターを発生させないために、施設からの要望で実施する。③東牟婁医師会や勝浦温泉病院と連携実施し、圏域内の感染を防止する。

▽法律及び条例の順守

【質問】 9月議会で有有限会社茂田

設計の手順は。

【答弁】（建設課長） 資料収集等々からの予算組、基本設計、実施設計の手順で進めています。

【質問】 議会に必要な資料の提示をしていると思うか。

【答弁】（副町長） 入札等社会的に影響の出ない部分においては、議会に提示し議会と共に施設建築を考えていきます。

【質問】 串本町に都市計画マスタープランはあるのか。

【答弁】（建設課長） 和歌山県で作成したマスタープランで検討しています。

【質問】 それでは、串本の都市の形を決めていけない。串本単独のマスタープランの必要性は。

【答弁】（建設課長） 今後検討していきます。

【質問】 庁舎完成後の公共交通での低地―高台のアクセスはどうなる。

【答弁】（企画課長） 庁舎完成に合わせて路線や時刻表の見直しを住民要望踏まえ検討中です。

【質問】 住宅密集地への考え方は。（防災空地、避難経路の確保等）

【答弁】（総務課長） 串本津波防災地域づくりの協議会（京都大学

組が県に対して建設リサイクル法に基づく解体業者の届け出を行っていないことを指摘した。解体による廃棄物を農地に置いていて農業委員会で取り上げられ、指導があったと聞いたが。

【答弁】（産業課長） 10月2日に農業委員会会長と職員で現地確認した。定例会で協議し撤去等の改善を求めている。

（その後、不規則発言を繰り返して議長の制止を聞かなかった議員が退場処分となる）

【質問】 建築基準法では10mを超える家屋の解体をする時には、県への届け出が必要。茂田組は建築基準法に基づく解体の届け出を行っているか。

建築基準法に基づく調査を行わせて、解体した件数を町は掴むべき。

【答弁】（町長） 町としてちゃんとした把握を今後していく必要がある。固定資産税にも関わってくるので課の中で協議していきたい。

牧教授と明治大学山本教授による指導のもと）において逃げ地図を研究作成中です。危険家屋の位置、密集地の空地等を合わせ作成したい。

【質問】 串本には、自然、歴史、民間ロケット射場、マリンスポーツ、特産物等々、他の地域に売り込む素材は多いがメインがないのでは。（どれかを軸にして串本をアピールしてはどうか）

【答弁】（町長） どの良き素材も一つのラインとして考え、総合的に串本をアピールしていきたい。期を逃さぬよう（遅きにならぬよう）マスタープラン等を作成して取り組んでいきたい。





松下修巳

●9月議会

▽中長期にわたる町づくりについて

【質問】 中長期にわたる町づくり、大きなビジョンをお尋ねしたい。

【答弁】（企画課長） 串本町まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ人口の減少、東京への一極集中などを是正し、様々な分野において施策を示しているところ。

【質問】 団塊の世代が75歳を超えていく2025年問題や2040年問題を見据えた町長のお考えは。

【答弁】（町長） 和歌山県も92万人を切ってしまう、串本町も人口が減るのは仕方ないとしても、減るカーブを緩やかにしていかなければならない。その一つのアイテムとしてロケットの発射場を誘致できたことではないかと考えます。

【質問】 国も高齢者のくくりを75歳にしようという動きもあるようですが、2045年には2人で1人以上の高齢者の方を支えなければならぬという現実が見えてきている。その時の医療費や社会保障の問題をどう捉えていますか。

【答弁】（副町長） 私がちょうど団塊の世代の真ん中なので、自分の立場に置き換えて話をさせていただきますと、元気な老人を増やす取り組みがされており、健康福祉センターでは食事の指導や機械を使って健康寿命を延ばすことに努めております。

【質問】 西の丘に串本小学校を新設し、出雲、橋杭との統合がいわれています。今年度の串本小学校の新入生は8人です。将来を見据えて生徒数の多い潮岬小学校との統合の方が友達も多く、き人間的にもよくなるのでは。

【答弁】（教育長） 具体的に何年度と決まったわけではありませんが、計画通り建設を進めていきたい。潮岬との統合となると教室数のこともあり、なかなか難しい。

▽町道の痛みについて

【質問】 穴が開いたりへこんだりして町道の痛みの激しい場所が

見受けられます。夜にでも足を突っ込めば、こけてケガしそうな場所もあります。対処は。

【答弁】（建設課長） 補修材の購入を増やし、定期的に職員も巡回により道路の管理を行っております。

●12月議会

▽県立高校の今後について

【質問】 和歌山県教育委員会によると、29校ある県立高校を20校に再編しようという動きがあるようですが、町としての思いは。

【答弁】（町長） 串本古座高校に関しては、今現在全国募集を進めているところですが、今後はロケット関連の事が学べるような学校にしていきたいと陳情も致しました。

【答弁】（教育長） ロケットに関する科というものはなかなか難しく、ロケットの授業といった部分かなと思っております。

▽町の治安について

【質問】 8月に発生した空き巣事

件。犯人検挙において防犯カメラの映像が一つのきっかけになったと聞いております。町としての防犯対策は。

【答弁】（総務課長） 串本警察署からの依頼も受けて、家屋の施錠の徹底の注意喚起、情報提供についての町内放送を実施しました。

【質問】 今後串本に来町される方が増えると思われませんが、田原地区に関してはロケット射場を持つ地域として、特に人が増えると思われませんか。田原地区に關しての取り組みは。

【答弁】（総務課長） 串本駅、古座駅にはカメラを設置しております。これからロケット事業の関係で訪れるということで、国道沿いの駐在所があった跡地と田原かじや前のバス停付近に設置したいと思っております。

▽小学校の統合について

【質問】 串本小学校の統合が言われておりますが、田原、古座、西向の各小学校についてはどのようにお考えか。

【答弁】（教育長） 町の出生数が60人、70人といった状況でございますので、次の計画も考えていかなければならないと思っております。



鈴木幸夫

●9月議会

▽コロナ禍の影響と関連した今後の取り組み

▽新しい生活様式（国施策の方針）と町の取り組みについて

【質問】 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について。

【答弁】（企画課長） 持続可能な事業に対して資金投入を考慮している。

【質問】 新しい生活様式（国施策の方針）と町の取り組みについて、テレワークの環境づくりは。

【答弁】（産業課副課長） 新型コロナウイルス感染症の広がりで、働き方、生活様式が大きく変化してきている。

事例として、本町においても移住され、テレワークを検討されている方もある。  
【質問】 テレワークの企業支援は。

【答弁】（産業課副課長） 本年度から起業チャレンジ支援事業を制度化。住民の要望に応えられるような支援策を検討していきたい。

▽コロナ禍による生活様式の変化で、使い捨てプラスチックの使用状況について

【質問】 コロナ禍による生活様式の変化で、使い捨てプラスチックごみの増加が新しい課題として生まれているが、本町では。

【答弁】（住民課長） 本町においても、容器包装、硬質廃プラスチックが増加している。コロナの影響が多少あると思われる。

【質問】 プラスチックごみの削減について、町の取り組みは。

【答弁】（住民課長） 町民の皆さんに対して、排出ごみ減量化の意識の向上、事業者の皆さんに対して簡易包装使用の推進の啓発に取り組んでいきたい。

▽新型コロナウイルス感染症に關連する不当な差別・偏見について

【質問】 やさしさと思いやりのある町の取り組みについて。

【答弁】（住民課長） 人権委員会が相談窓口となっている。また、町と連名で人権について啓発活動に取り組んでいる。

●12月議会

▽新型コロナウイルス感染防止意識を高める取り組み

▽町の取り組みの現状と今後の取り組みについて

【質問】 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（第3次）について。

【答弁】（企画課長） 第1次と同規模の1億円を見込んでいます。

【質問】 民間格安のPCR検査について、精度は。

【答弁】（病院管理者） PCR検査の機械は安価なものから高価なものまである。機械は感度、特異度が重要。医療用は90%以上の機械を採用、民間は必ずしもそうでない。

一番大きな問題は、民間は陽性になったとしても通告する義務がない。

受けないより、受けた方がいいというレベル。

まちづくり3カ年計画（第2次実施計画）

▽ロケット推進事業について：町の活性化にどのように取り組んでいくか

【質問】 ロケット関連施設として古座庁舎のリノベーションについて基本構想は。

【答弁】（企画課長） 1階に資料展示、2階には事業関係者のワーキングスペース、3階には8K臨場感シアターを設ける。宇宙に關連する企業、關連する方たちの拠点施設として計画。

【質問】 ワークショップの取り組みを通じて、町のイメージ化、ロゴマーク等の開発は。

【答弁】（町長） 串本町内で営業されている方限定で使用できるオンラインワンのロゴマークを考えたい。

【質問】 物産開発に向けて地場産業育成を目的とした補助金制度の創設は。

【答弁】（町長） 補助金制度だけでなく、知恵を出す人に頼るシステムも併せて考えたい。

その他、打ち上げ時に伴うごみ、トイレ、駐車場の課題対応の現状についてもふれ、具体化に向けて検討（トイレマップの作成等）するよう質問する。



長 脊 守

●9月議会

▽防災対策について

【質問】避難所開設運営訓練（感染症予防対策）について尋ねる。

【答弁】（総務課長）新宮保健所申本支所の指導のもと、新型コロナウイルス感染症対策に際しては、避難所開設運営訓練に職員が参加し、保健所職員の指導の下、避難所の設営及び運営までの研修を受講。今後、各地区の自主防災会等から要請があった場合は、積極的に出前講座等対応可能。

【質問】災害時の備蓄品について尋ねる。

【答弁】（総務課長）災害時の備蓄食料及び保存水については、5年計画で準備されており令和元年度末で、食料（3万1750食）、保存水ペットボトル500ミリリットル（10万2224

0本）備蓄。食料・保存水は、毎年度食料（6350食）・保存水（ペットボトル2万448本）を購入し補充。その食糧・保存水の賞味期限対策として、随時賞味期限時期を確認し、町イベント等で啓発し町民の方に啓発活用として配付。

▽環境整備について

【質問】ジオサイト付近に看板設置と海岸・漁港等美化について尋ねる。

【答弁】（住民課長）ジオサイト周辺や観光地等の所有者・国等の許可を得た後、看板設置。漁港については、地域の要望により関係機関（県・国等）の許可を得て立入禁止看板を設置。

▽空き家対策について

【質問】串本町の空き家調査状況と解体補助制度について尋ねる。

【答弁】（建設課長）平成27年外観及び水道開閉判断で管理されている空き家数は、426軒、一部破損等の未管理空き家数は219軒、老朽危険空き家が123軒。平成28年3月串本町空き家等対策基本計画が5年目を迎え、今年度現地調査を行い、そ

の結果を踏まえ基本計画の変更を検討。本年度より串本町不良空き家等除去補助金交付制度を設け、一軒当たり上限50万円の計500万円の予算計上。増額については現行のまま。

▽解体後の固定資産税について尋ねる。

【答弁】（税務課長）建物を撤去した場合、住宅用地の特例が受けられなくなり税額が増額されるため老朽家屋の取り壊しが進まない要因となっている。他の市町村では固定資産税の一部減免措置や補助金を出す自治体もある。串本町の場合は、町の環境を守る意味で解体費用に対し補助制度を設けている。

●12月議会

▽防災対策について

【質問】災害時の給水対策について尋ねる。

【答弁】（水道課長）災害時には、町内の指定給水装置工事業者に要請し、建設業者に応援依頼。応援復旧が町独自で不十分と判断した場合は、日本水道協会和歌山県支部災害応援対策要綱に



橋 爪 和 雄

●9月議会

▽水道事業について

【質問】全国的に水道管の老朽化が問題になっています。

【答弁】（水道課長）水道管の法定耐用年数は管種に関係なく40年です。元年度末の管路の法定耐用年数経過管は3万326メートル、13.1%（全国平均15.1%）。

【質問】有収率の現状と改善の取り組みについて。

【答弁】（水道課長）有収率は令和元年度で72.03%です（全国平均90%）。今年度は75.92%。有収率の向上により給水原価を低く抑えることができ、収益の改善につながる。

【質問】水道施設の耐震化について。

【答弁】（水道課長）基幹管路で16

1%（全国平均38.7%）。被災した場合に復旧するまでの期間を一番要する浄水場については85.9%（全国平均27.9%）。

▽水道の水源維持管理について。

【答弁】（水道課長）月野瀬取水場の上流に設置している仮設取水ポンプを稼働する期間が増加している。将来の取水場移設に備え、元年度に取水候補地の一か所を調査しました。

▽今の取水場所は心配。新たな取水施設を検討していただきたい。

【答弁】（水道課長）町内業者と町外業者の契約金額と件数の割合について。

【答弁】（水道課長）契約金額は町内が58.3%、件数は40.74%。

▽工事の分離によって町内業者率を上げる対策について。

【答弁】（水道課長）町内業者でもよく言われております。【質問】水道事業の経営状況について。

【答弁】（水道課長）町民の負担となる水道料金の改定をできるだけ避けたい。給水原価が186

29円。供給単価は189.79円。1立米当たりの利益が3円50銭という状況です。

●12月議会

▽病院や福祉施設でのコロナウイルス対策について

【質問】病院や福祉施設関係者等に対するPCR検査について。

【答弁】（病院事務長）福祉施設・教育施設等の職員を対象に無症状の方を無償でPCR検査をできる制度を取っている。発熱を伴う諸症状が出たときには迷わず受診していただきたい。

▽地域医療の中核を担う基幹病院までが医療崩壊の危機に

なっています。医療資源に限りがあります。スタッフの精神的な疲れが事故につながります。今後の対応について。

【答弁】（病院事務長）PCR検査に大人数が来たときに備えて、ドライブスルー方式の検査体制も確立している。12月の時期は医師の派遣が決定する時期。近畿大学とも交渉して、次年度の体制が整いつつある。院内にコ

基づき、応援要請。

【質問】町内各水道施設の耐震性と耐用年数について尋ねる。

【答弁】（水道課長）串本低区配水池・串本高区配水池・潮岬配水池・里川配水池・新古田浄水場を除く施設については、耐用年数・耐震性能は現在不足しているが、地方公営企業法施工規則にて更新等を行い、法定耐用年数を超えても補修などの維持管理により使用可能。

他に解体後の固定資産税、浄水場の移転計画と統廃合、河川の整備と監視カメラについて尋ねる。



ロナを持ち込ませない、クラスターを起こさない体制に懸命に取り組んでいる。

【質問】子宮頸がんワクチンについて。

【答弁】（福祉課長）接種するかどうかを判断するには、安全性や有効性の情報を提供することが必要不可欠。対象者に対して接種勧奨ではなく、周知のための通知であるとか、説明書の事前配布などを行っていききたい。

【竹村管理者からも専門的な考えを聞かせていただきました。】

【質問】特定不妊治療について。

【答弁】（福祉課長）対象となる治療は体外受精及び顕微授精による特定不妊治療。給付は1回の治療につき町は5万円、2回目からは10万円。和歌山県は1回目は30万円、2回目は25万円。令和3年度は現行の助成金を大幅に改正する。広報で周知していききたい。

【質問】特定保健指導・健康相談の取組について質問をしました。



島野 靖

●12月議会

▽町政の検証

【質問】 今年度の串本町のコロナ対策は、高評価できると考えます。しかし、検証も大事なことと思いません。

【答弁（企画課長）】 決してこれで満足しているわけではございません。しっかりと検証も行い、さらなる次の対策を講じていけたらと考えています。

【質問】 まだコロナの影響は収束しておりません。この先、会社の倒産や経済的理由により会社や店舗を止める方々や、自殺者も増加するのではと危惧されています。

【答弁（企画課長）】 幸い、串本町では感染者は出ていません。町内で店を閉めた、倒産したという報告は受けていません。

▽串本町の未来図  
【質問】 串本町の未来図を考えると、やはりスペースポート紀伊が鍵となってきます。私は、将

来的にはスペースワン社を当地に誘致することだと考えます。コロナ後の日本の社会は、かなり変わってくるかと考え、串本町においても、人口減少や高齢化が進み、悲観的な考えになりがちですが、未来は誰にも分かりません。データや予想に基づく政策だけでは町の発展はございません。町長の考えは。

【答弁（町長）】 串本町は都心から遠い田舎であったわけですが、数年後、高速道路が串本インターチェンジまで完成すると、羽田から白浜まで1時間余り、白浜空港から串本まで45分で着く近い田舎である。

それも、これだけの景観を持ち、これだけの歴史を持ち得た町であります。白浜町に負けない以上の魅力のある町ではないかと思っています。



清水健太郎

●9月議会

【質問】 くしもと病院の財政について、一般会計からの繰入金は町の広報に載っているか。

【答弁（病院事務長）】 今後載せていく。

【質問】 くしもと病院が黒字だと思っている住民もいる、正しい情報を伝えるべき。

住民の福祉の観点から繰入金で負担すべきという客観的な基準が決まっている。基準外の繰入金は幾らか。

【答弁（病院事務長）】 2.5億円程です。

【質問】 この2.5億円はどう解消していく計画か。

【答弁（病院管理者）】 議員の提案を聞きたい。

【質問】 各診療科毎の収支を出してはどうか。基本的なデータがないと分析できない。

【答弁（病院事務長）】 産科のマイナスが一番大きい。だから、それを切れという話になるのか。【質問】 言っていることがおかし

いでしょ。各科の収支を出したかどうかと提案しただけなのに何で産科を切れという話になるんですか。そうやって貴方達は住民サービスを切れというのかという話に逃げている。ちゃんと議論すべき。

【答弁（町長）】 意味がわからない。各科の収支を議会に出して、素人が精査するのは。

【質問】 再生健全化計画を見ても基準外の繰入金が2.5億円から減る計画になっていない。少しでも繰入金を減らすように考えようと言っている。

【答弁（病院事務長）】 現在、改善の手法が見当たらない。

【答弁（町長）】 近畿大学の教授である竹村管理者は、ここで座っておくのはかいだるいと思いませんよ、この議論を聞いているのは。

【質問】 病院の事を住民の代表として聞くのに、基準外繰入金が2.5億円ある中で、どう改善していくのか聞いたら、こんなくだけた議論など、とんでもない事を言いましたね。そもそも考え方がおかしい。

【答弁（町長）】 そっくりお返しします。

その他、公民館活動、統合小学校について聞きました。



寺町 忠

●9月議会

▽学校での交通安全指導について

【質問】 子供達が自転車に乗る際ヘルメットを着用していません。ヘルメット着用について教委としても各学校で広がるよう啓発していただければと思いますがいかがでしょうか。

【答弁（教育長）】 ヘルメット云々も含め、我々も校長会の中で指導しているところですが、やはりもう一度徹底して申し上げます。また、学校を通じて保護者の皆様方に子供の安全という面で啓発していきたいと思えます。

【質問】 最近、交通量も非常に多くなっています。児童生徒が通学時や休みの時に事故に遭うようなことがあってはなりません。今一度、学校に申し入れをしていただきたい。

【答弁（教育長）】 早速、次の校長会で私の方から申し上げたく思います。

【質問】 自転車の損害保険の加入率は分かりますか。

【答弁（教育次長）】 損害保険は任意制度なので、加入率は把握できていません。

▽コロナ禍での学校行事について  
【質問】 中止になった修学旅行ですが、修学旅行は一番の思い出になります。何かそれに替わることを実施された学校や内容はありますか。

【答弁（教育次長）】 小学校では町内や那智勝浦町のホテルに一泊して体験学習を行ったり、日帰りで体験学習をしています。まだ行っていない学校もあります。【質問】 思い出作りについて児童生徒らが案を出し合い決めた学校もあり、逆に近隣地域の良さを発見できたという聞いています。

【質問】 再度一斉休校措置が発令された時の対応と考え方は。

【答弁（教育次長）】 一斉休校ですが、文科省の方では、慎重にしていくべきと通達が来ています。

【質問】 3月の一斉休校は急に出たことで対応の仕方も困難だったと思います。この経験をふまえ、こういった事態に対応できるマニュアル作りを検討していただきたい。

【答弁（教育長）】 事前に詰めておくのは非常に大事なことで考えています。



沼谷美次

●12月議会

▽町政を担う長として、これまでの成果と今後の課題と取り組みについて

【質問】 町長は、サンゴ台中央線高架道路建設を成し遂げ、サンゴ台の発展は目覚ましいものがあります。主要な町施設、官公署の高台移転と、現在建設中の役場庁舎、こども園建設に伴う造成工事、高速道路に伴うインターチェンジの建設と、これらの事業の完成を見届ける責務があると思えます。

【答弁（町長）】 サンゴ台の高架道路完成後、串本町のまちづくりには大きな影響を与え、今まで町長として一生懸命努め、これからは町民の皆さん方の暮らしやすいまちづくりに一層の努力をしていきたい。

【質問】 ゴーニング案のA案について、児童公園として利用でき

ないか。

【答弁（建設課長）】 非常に景色のいい場所で、眺望を最大限に活用できるような展望所も考えていきたい。

【答弁（町長）】 敷地内から歩道でアクセスするこの広場を児童公園としてイベントにも対応する多目的用途で考えている。

【質問】 こども園高台移転後の園舎の利用方について。

【答弁（こども未来課長）】 旧の幼稚園舎につきましては、学童保育所として利用できればと考えております。旧の保育園舎につきましては、串本墓地の駐車場として活用できないか考えております。

▽ロケット打ち上げに伴うインフラ整備について

【質問】 ロケット射場について田原地区の方に協力していただき、打上げの際は十分満足してもらえらるようなインフラ対策を取ってほしい。

【答弁（町長）】 警察署の臨時交番防犯カメラの設置、臨時交番につきましては、今後も要望を続けていきたい。

新庁舎建物は、くしもと町立病院奥の造成地内に建設中。地上部2階建て、延べ床面積5442㎡。進捗状況は、外観部分は見て取れて、内部は電気の配管・水道の配管等も見られ順調に進められているようでした。半年後に建物が完成の見込み。

引越しは7月の予定です。

駐車場など付帯する外構整備も含めた総事業費は約33億円。うち9割を緊急防災・減災事業債と合併債特例事業（実質負担額は約10億円となる見込み）。



建設課職員の案内で、サンゴ台中央線の建設現場を見学しました。サンゴ台中央線は「すさみ串本道路」作業道路として活用するため、国・町の双方が費用を負担して進めている。

サンゴ台中央線は延長1.6キロで、市街地西側から直接高台へ上れるようになる。

サンゴ台にはすでに海上保安署や町の主な施設が移転していて、沿線に統合小学校などが移転する予定。子ども達が安心して通学できる幅広い側道も完備している、防災効果の大きい道でもある。



役場新庁舎・サンゴ台中央線建設現場の視察研修  
令和2年11月10日、2台の車に分乗して全議員が現場へ行きました

議会改革特別委員会報告

議会基本条例の  
骨格完成

平成30年第3回定例会（9月議会）において承認され設立した議会改革特別委員会も2年が過ぎ資料収集、研修等色々な作業を経て設立目的であった「住民に信頼される権能の強化」サブタイトル；議会基本条例の策定を一つの目標に従い、令和2年第4回定例会（12月議会）において、議員各位に、議会基本条例（案）を示しました。今後は、もう少し細部の検討を行ない、令和3年第1回定例会（3月議会）に上程し、議会基本条例の正式設立を目指しています。

議会基本条例は  
和歌山県下で3例目

議会基本条例は、文字通り議会の活動ならびに議員政治活動において基準となるものです。本条例を議員一人ひとりが把握し守る事によって現在失いつつある町民の皆様から議員への信頼を取り戻そうと考えています。



なお、和歌山県下の21町村で、議会基本条例を制定しているのは、かつらぎ町、美浜町の2町だけであり、串本で議会基本条例が制定されると、和歌山県下では初となります。

- 第3回特別委員会は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業（以下経過は左記の通り）
- 1 「審議の概要」
  - 2 串本町生活支援給付事業について
  - 3 経済的な負担が増えている町民の皆さんに一人当たり、町内で利用できる商品券7,000円を全住民に配布。併せて消費拡大による商店の活性化を図る。
  - 4 図書館換気・空調設備整備事業について
  - 5 クラスタが発生しやすい図書館の3密を避けるため、換気設備と空調設備を改修。
  - 6 集会所換気機能付き空調設備整備事業について
  - 7 感染予防対策事業について
  - 8 クラスタ発生防止の為、介護施設及び公共施設等の職員に対し、必要に応じて無料のPCR検査や抗体検査を実施。感染拡大を防止すると共に

新型コロナウイルス  
感染症対策特別委員会

- 1 「日 時」令和2年10月12日（月曜日）
- 2 「出席委員」14名
- 3 「説明委員」町長他関係課長
- 4 「審議の概要」
- 5 串本町生活支援給付事業について
- 6 経済的な負担が増えている町民の皆さんに安心して施設利用と生活に繋げる。
- 7 学校情報通信ネットワーク環境施設整備補助金について
- 8 学校の臨時休業等の緊急時において、子どもたちの「学び」を補償できる環境整備の充実。「一人1台端末」「家庭でもつながる通信環境」に係る情報通信機器等の整備。
- 9 今回の提案事業を踏まえ、町民の皆さんの健康と安全・安心の確保を基本に、町内の経済の活性化等に向けて、諸施策が実施されるよう協議を行う。
- 10 なお、新型コロナウイルス感染症対策事業としては、今回の5事業、今後予定の3事業を含めて、48事業（事業費は、5億600万円程）になる。

令和2年度全議員研修会

10月23日（金）、かつらぎ町かつらぎ総合文化会館において、令和2年度全議員研修会が開催されました。県内の町村議会議員及び事務局職員120名が参加し、当町からは、議員12名と事務局2名の14名が参加いたしました。

今年度は、神戸学院大学現代社会学部教授 中野 雅至氏より、「働き方改革について」と題してご講演がありました。講演では、5つの大きなテーマに沿ってお話をいただきました。

- 1 保守政権と働き方改革
- 2 働き方改革の背景
- 3 激化する世代間対立 ～現代の若者～
- 4 現代の若者事情の諸々
- 5 コロナで労働市場はどう変化するか

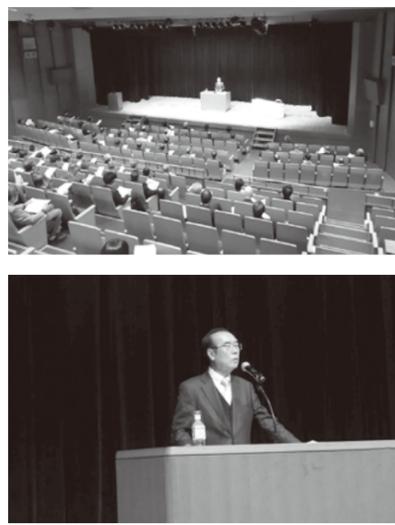
最後の五つ目では、最近の新型コロナウイルス感染症状況等により激化する経済社会や、アフターコロナの経済対策、在宅勤務中心への変化による地方移住等が現実味を帯びてくるお話で締めくくられました。



令和2年度委員長・副委員長研修会

11月11日（水）、和歌山県民文化会館小ホールにおいて、令和2年度委員長・副委員長研修会が開催されました。県内の町村議会正副委員長及び事務局職員120名が参加しました。当町からは、正副委員長7名と事務局2名の9名が参加いたしました。

今年度は、全国町村議会議長会 議事調査部 参与の荒井 幸弘氏から、「委員会の運営について」と題してご講演がありました。講演では、委員会の位置付けや種類、権限等、委員会に関する事柄について、幅広くご教示いただきました。また、講演後には活発な質問があり、荒井氏はその一つひとつに詳しくお答えいただきました。



ロケット関連（誘客多角化事業）研修会

11月24日（火）、串本町役場古座分庁舎3階大会議室において、ロケット関連（誘客多角化事業）についての研修会を行いました。当日は株式会社USPジャパン 代表取締役 新津 研一氏から、「みんなですペースポート紀伊を知ろう ロケット打ち上げを楽しもう」と題し、小中学校の子どもたちを中心に進めていくワークショップについてのご講演をいただきました。

ロケット射場は世界でも26か所しかなく、日本にはこれまで、種子島と内之浦の2か所にロケット射場がありました。この2か所は、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）が管理しており、串本町に開設されるこのスペースポート紀伊は、日本で初めての民間企業のロケット射場となります。

このロケット関連事業により、子どもたちが串本に対して誇りや自信を持つきっかけとなり、町の地域振興にも繋がると新津氏はおっしゃっておいりました。



清水議員の公報活動に対する訂正

清水健太郎議員が9月に配布したチラシの内容およびYouTubeでの発信が事実と異なっていたので、議会広報委員会として経過を報告します。

串本町議会広報委員会では、一般質問の原稿はそれぞれの議員が自分で書くことになっています。公報の発行は年2回なので、2回の定例会の報告が行われます。一般質問に関しては2回行った議員は1ページ。1回だった議員は半ページが割り振られます。

議会広報発刊当初は国会議員の宣伝を書いた議員がいたり、質問していない内容を書いた議員もいて、①議事録のゲラ刷りをもとに、実際の議会でのやり取りを書くこと。②質問と答弁という形で統一すること。が決められてきました。

6月25日 今年度の広報委員会が設置され、議会だより32号の発行が決まり、後日各議員に原稿の執筆依頼を送付しました。

8月11日 議会広報委員会を開き、業者が作成したゲラ刷りをもとに各議員からの原稿を確認しました。清水議員の原稿は、質問だけ書いて答弁が書いていなかったり、質問が無いのに答弁が書かれている原稿があったので、修正するように申し入れることを全会一致で確認しました。また、修正に応じなかった場合は、質問と答弁になっている個所だけを載せることも確認しました。会議終了後事務局職員がその旨を伝えに行ったら「表現の自由への干渉だ」とのことで「修正には応じられない」との返事でした。過去に修正に応じなくて全面削除したケースもありましたが、今回は委員会の決定通り部分削除としました。

なお当時の広報委員会のメンバーは仲江 長脊 川勝 五十川 橋爪の各委員です。

このように清水議員の「議会広報特別委員会（共産党仲江委員長）が議会だよりの原稿を勝手に削除」というのは事実ではありません。また、「憲法違反」という指摘も、議会が発行する公報の内容については、議会広報委員会に「編集」の権限があり、それを「検閲」というのは明らかに法解釈の間違いです。修正内容が気に入らないというのであれば、修正の依頼があった時に自分で行うべきで、依頼を断っておいて、内容に文句を言うのはお門違いです。



# 議会の動き

## 《本会議》

9月1日～ 9月11日 第3回定例会  
12月7日～ 12月18日 第4回定例会

## 《臨時会》

10月29日 第4回臨時会  
11月26日 第5回臨時会

## 《委員会》

### 【議会運営委員会】

8月25日・9月9日・9月11日・9月24日・  
11月17日・11月30日・12月16日・12月17日

### 【常任委員会】

9月 1日 総務産業建設常任委員会  
9月 2日 総務産業建設常任委員会  
9月 2日 文教厚生常任委員会  
12月 2日 総務産業建設常任委員会  
12月 8日 総務産業建設常任委員会  
12月10日 文教厚生常任委員会

### 【特別委員会】

12月25日・ 1月28日 議会広報特別委員会  
11月17日・ 11月26日 議会改革特別委員会

12月18日・1月7日・1月27日 懲罰特別委員会  
10月12日 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会  
10月14日・10月15日・10月16日・  
10月20日・10月21日 決算審査特別委員会

### 【全員協議会】

11月24日

## 《研修会》

10月23日 和歌山県町村議会議長会 全議員研修会  
11月10日 新役場庁舎及び  
サンゴ台中央線建設現場視察研修  
11月11日 和歌山県町村議会議長会  
委員長・副委員長研修会  
11月24日 ロケット関連（誘客多角化事業）研修会

## 議長 公務日誌

(令和2年8月～令和2年12月 主なもの)

- 8月 27日 新宮周辺広域市町村圏事務組合 第2回定例会（新宮公設市場 会議室）
- 9月 5日 串本・太地道路杭打ち式（那智勝浦町 体育文化会館）  
16日 日本トルコ友好130周年事業エルトゥールル号追悼式典（樫野崎 トルコ軍艦遭難慰霊碑前）
- 10月 15日 第2回串本古座高等学校地域協議会（古座分庁舎 3階 大会議室）  
18日 宇宙シンポジウムin串本（ホテル&リゾート和歌山串本）  
23日 和歌山県町村議会議長会 全議員研修会（かつらぎ町 かつらぎ総合文化会館）  
26日 串本町古座川町火葬場（運営）検討委員会（古座分庁舎 2階 トレーニングルーム）  
30日 東牟婁郡町村議会議長会 臨時総会（那智勝浦町役場 3階 会議室）
- 11月 9日 令和2年火災予防パレード（和深～あらふね）  
11日 和歌山県町村議会議長会 委員長・副委員長研修会（県民文化会館 小ホール）  
13日 紀南環境広域施設組合議会定例会（田辺市ごみ処理場 管理棟2階 会議室）  
14日 古座地区戦没者慰霊祭（善照寺）  
18日 ロケット関連 キヤノンギャラリー視察（東京都）  
19日  
25日 南紀園再建計画説明会（太地町公民館 会議室）
- 12月 6日 防犯剣道大会（串本町立体育館）  
21日 令和2年度新政策「どこでもスタンド」納入式（串本建設部庁舎）

委員長 仲江孝丸  
副委員長 長脊守  
委員 川勝昇  
委員 五十川清紀  
委員 清水健太郎  
委員 橋爪和雄

漆畑議員が議員辞職されてから、欠員となっていた広報委員に清水議員が加わったため、6名での編集となりました。本号記事の中で、議会基本条例の制定に向けた取り組みが、さらりと書かれています。基本条例が制定されると、議会の活動スタイルが大きく変わります。広報にも広聴活動が加わります。それを実践するのは、4月の改正以降のメンバー。乞うご期待。

編集  
後記

